

大草谷津田いきものの里 自然観察会

カエルぴょこぴょこ何種類？

川北紀子（千葉市）

日 時：2019年6月2日(日)10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：35名（大人22名 子ども13名）

担当指導員：山下美佐子・川北紀子

お天気にも恵まれ、大草のカエル達に会いに、たくさんの方々が観察会に参加してくださいました。いつもの通り観察会の注意事項を説明した後、大草にいるカエルとその卵の写真を見てもらい田んぼへと移動しました。今年は雨が少ないのか？水の枯れている田んぼがとても多く、オタマジャクシの死骸のかたまりがあつたりと参加者も驚いた様子でした。カエルはたくさん卵を産むが、環境が悪くなったり天候の変化で、成長できるものはほんのわずかなのだということを実感していましただけなのではないでしょうか。わずかな水のたまつたところにいた瀕死の状態のオタマジャクシを救出し、水のある田んぼに移してあげました。コロコロと鳴くシュレーゲルアオガエルの鳴き声を聞きながら、田んぼの畔から稻を傷つけないようにオタマジャクシを網でくつたり、畦道にぴょんぴょんと跳ねるニホンアカガエルの子ガエルを捕まえたりと参加者達は子どもも大人も夢中でした。ニホンアマガエルの足には吸盤があり、ニホンアカガエルにはないことなどを実際に観察することもでき、カエル達も種類によってそれぞれ生活スタイルが違うことを説明しました。オタマジャクシの体の構造などや顔の様子などを間近で見てもらうこともできました。カエルの種類のほかにもウマビル・オオアオイトンボのヤゴ・ドジョウ・サワガニ・オオタニシ・アメリカザリガニ等々、大草の田んぼにはいろいろな生き物がいることを実感してもらいました。最後にカエルの一生を描いた紙芝居を見てもらい観察会を終了しました。



田んぼの畔で みんなで夢中で生き物探し！！



カエルの一生を描いた「紙芝居」を楽しんでもらいました。